

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	公表日 年 月 日				
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	6	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	フラットなビニールフローリングなので、お子さまが滑らないよう、靴下を脱ぐなど、徹底しています。	
	2	6	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	稼働増によるスタッフ採用を慎重に進めています。	
	3	6	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	年齢や発達の違いにより、どのような施策が良いのかをお子さま毎に試しながら実施する必要を感じています。	
	4	6	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	広い環境なので、温度調整に気を使っています。	
	5	6	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	急なバニックなどのクールダウンに使用できるよう、相談室を設けています。横にもなれるよう、畳の部屋です。	
業務改善	6	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	管理者より定期的に短期方針を提示し、スタッフ個々の最近の気付きを共有しています。	
	7	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	活動記録のコメントや、送迎時のお話、評価表などにより、保護者様からの意向についてのアンテナを張っています。	
	8	6	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	月に1回の割合で、意見交換会を実施しています。支援内容や、お子さまの様子、施設内備品など、項目は多岐にわたります。	
	9	5	1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	プロッサムジュニアは、本部に担当SVがおります。教室で起きていることはアプリで共有しており、都度アドバイスを受けています。
	10	6	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	本部主催Web研修会に参加し、支援の質を上げる研修を実施しています。
適切な支援の提供	11	6	6	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	HUGシステムを用いて、ご利用者様に公表。教室公式SNSにも掲載しています。
	12	6	6	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5領域を網羅するアセスメントを豊富な本部ノウハウを元に、保護者様のニーズをしっかりと聞き出した計画案を作成しています。
	13	6	6	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	個別支援計画原案を元に、お子さま毎に意見交換を実施し、支援計画化し、お子さまの暮らしやすさを追及しています。
	14	6	6	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	日々の活動プログラム案のすり合わせの場で、お子さま毎の注意点などについても議題にあげています。
	15	6	6	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	お子さまの小さな変化や、ふと発した言葉など、細かな部分も共有することが多いです。
	16	6	6	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	保育所・小学校とも連携し、当教室での様子や課題について共有しています。その上で相談支援事業所へも適時アナウンスを実施しています。
	17	6	6	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	「歌」「楽器演奏」「ダンス」「レクリエーション」と4分割し、担当制にしています。改善点共有の定例会議を設けています。
	18	6	6	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	さらにお子さまに音楽が好きになってもらえるよう、常に改善が必要と感じています。
	19	6	6	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	集団で見つけたお子さまに苦手な個別で繰り返し練習することで、コツコツやれば自信に繋がることをお伝えしています。
	20	6	6	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	さらに効率よく、内容把握や、助け合いを実施するにはどうするかが課題です。
	21	6	6	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	送迎ですてしまうスタッフもいるので、翌朝にまたがっての共有の精度をあげることが課題です。
	22	6	6	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	現状もかなり丁寧な記録となっているが、さらに良くするにはどんな方法があるかは模索中です。
	23	6	6	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	半年を目途に計画の見直すことを徹底しています。
	24	6	6	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を意識した集団活動を実施しています。
	25	6	6	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	自由時間に遊ぶおもちゃをお子さま自身で選び、道具を変えるならば片付けるなど、生活に必要な力を伸ばすことを考えています。

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		お子さまに関わる関係各部と、積極的に情報交換を実施しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		ご利用開始と共に、一度訪問させていただき、しっかりと連絡調整を実施の上、ご利用いただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		本年4月に初めて6名、保育所→放デイとなるお子さまが発生します。情報共有はしっかりと実施していきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等しているか。	4	2	現時点でまだ該当のお子さまが存在しません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		発達支援センターと連携を図り、地域ニーズや、教室の特色についてアドバイスをいただいております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	OPEN時、ほぼ全ての児童館へご挨拶にうかがいました。今後、地域の児童も参加可能な活動を設けて行きたいと考えています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	3	サービス提供記録や、教室メール、管理者による日々のコミュニケーションにおいて、充実を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	教室で色々試し、お子さまに有効だった方法は、保護者様にも共有し、ご家庭でも活用していただいております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧に実施しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		個別支援計画や、お子さまへの声掛けの中で、共有を開始し、社会的自立に向けた支援を第一に運営しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		個別支援計画の、説明日/同意日の日付記入、フルネームサインにより、同意をいただいている認識です。	全てHUG上での電子サインとなっており、苦手な保護者への説明の精度を懸命に上げています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		アセスメントや、送迎時の日々の様子ヒヤリングなどで感じたことは「1つアイディア」としてお伝えしています。	「常にいろいろと方法を試し、失敗を積み重ねることが大切」の別の言い方を探しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		2025年より、振替休日の開所を始めます。この日に保護者様も参加いただけるようなイベントを実施することが決定しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者のニーズは常に管理者を中心に細心の注意を払い、都度スタッフ間にも共有しています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		日々の教室の様子は、リタリコ発達ナビのブログと、Instagramにて毎日発信中です。	写真は顔出しがNGなお子さまについてはきちんとした配慮をしています。成るだけ良い写真にすべく、奮闘しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫に書類は保管しています。教室用PCを各スタッフに配布し個人情報は全てHUG内で管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		なるべく短く、はっきりと、誤解や受取違いが発生しないような言い方や文章を意識しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	開所のタイミングで内覧会を実施いたしました。相談支援事業所には教室に来ていただき、案内をいたしました。	平日のみの開所の為、夏祭りなど、実施する際のアナウンスが大きな課題です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		本部に存在するマニュアルを教室でも運用しています。	紙ベースでの共有ではなく、活動ベースで保護者へはお伝えするように、実施検討中です。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		訓練については本部指導により要件を確認し、お子さまを含めた活動としています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		見学会の際のアセスメントで必ずヒヤリングしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	6		見学会の際のアセスメントで必ずヒヤリングしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理がしやすいことを重点をおいた構造になっております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		非常連絡先について、契約時に提出していただくようにしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		口に運びやすいとか、お子さま毎の特性も考慮し、細かなヒヤリハットも共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		本部主導の研修をスタッフが受講しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		やむを得ず行った場合も、保護者に伝達しています。お子さまが何をされるのイヤかをお子さま自身にしっかりと聞いています。	